令和6年度 学校経営計画及び学校評価

1 めざす学校像

個性・適性・能力を生かして幅広く社会で活躍できる人材育成を目指し、無理をせず自分のペースに合わせて学習できる学校

- 1 通信制・単位制の特色を生かした、生徒たちが抱える多様な事情に配慮した教育と柔軟な学習システムを提供する。
- 2 自他の個性を認め合い、人権を尊重し、支え合い、安心して学べる学校。
- 3 自己肯定感を高め、自らの手で未来を切り拓き、社会に貢献できる人材を育成する。

2 中期的目標

1 通信制・単位制の特色を生かした、生徒たちが抱える多様な事情に配慮した教育と柔軟な学習システムの構築

- (1)通信制における教育の指導内容・指導形態・評価方法等について実践的に研究を行い、研究授業、校内研修等を通して学習指導の改善・充実を追究する
- (2)ICT を活用した教材の研究、学習支援を拡充する
 - ① 学習指導、生活指導、進路指導、人権指導を客観的に検証し、学内運営に反映
 - ② 教育振興基本計画、大阪府私学課の方針に基づいた通信制の機能強化について、関係団体との協議および学内検討による整備の継続

2 自己肯定感を高め、社会に貢献できる人材の育成とその実現に向けた教職員の資質向上

- (1) 基礎的・基本的な学力の定着をめざした教育課程の検討・編成
- (2)生徒一人ひとりの学力を伸長させ、単位修得率、卒業達成率を向上させる
 - ① 生徒の意欲を向上させる分かりやすいスクーリング指導やきめ細かい個別のレポート添削指導の検討・確立
 - ② 個々の生徒の状況を組織的・継続的に把握し、根気強い学習支援とサポート体制を確立する
- (3)生徒の状況に合わせた多様な学習スタイルの検討・導入
 - ① 基礎学力不足の生徒に対するさらなる学習支援策の検討・確立
 - ② さまざまな入学動機や学習歴を持つ生徒、学校不適応の生徒など、多様な生徒等のサポート体制、学習スタイルの研究、改善、実施
 - ③ 文部科学省「高等学校通信教育の質の確保・向上のためのガイドライン」を踏まえ、スクーリングに出席が困難な生徒のサポート体制の確立
 - ④ 卒業後の進路選択に向けた指導と支援策の検討・確立

(4)人権尊重の教育の推進

- ① 3年間を見通した人権教育計画の策定と実施
- ② 人間としての在り方や生き方を考えさせるとともに、思いやりの心を育み人権尊重の精神を育てる
- ③ 人権問題に関する認識を深め、課題解決のために主体的に考え、判断できる能力を育てる

(5)教職員研修の充実

- ① 教職員の校外研修への積極的な参加や校内研修等の充実を図る
- ② 人権研修等を計画的に実施し、確かな人権感覚の充実を図る
- ③ 通信制教育への理解を深め、本校の通信制教育のさらなる充実を図る

3 生徒支援と相談体制の強化・充実

- (1)生徒及び保護者との面談・懇談の実施並びにサポート体制の充実
- (2)生徒一人ひとりの状況を把握し、職員間で共有することにより、一層適切にサポートする体制をつくる
- (3) 要配慮生徒をはじめとする生徒情報の収集と共有を通して危機管理体制を強化する
- (4)疾病や障がい等の教職員研修会を実施し、生徒理解を深める
- (5) 臨床心理士やスクールカウンセラー等との連携、福祉・医療等の外部機関との連携

4 卒業後の進路を見据えたキャリア教育・進路指導の充実

- (1) 生徒一人ひとりの適性に応じたキャリア教育・進路指導の実施
- (2)就職及び進学指導における「進路の手引き」の効果的活用
- (3)3年間を見通した「進路指導計画」の策定による体系的・継続的な進路指導の実施
- (4)「進路希望調査」の実施による進路意識の向上及び希望進路の早期把握と支援
- (5)就職希望者及び進学希望者に対する丁寧かつ細やかな進路指導と支援

5 情報発信・学園広報活動の充実

- (1)情報発信の充実
 - ① 学校ホームページ、インスタグラム、学生証アプリ「ガプリ」(プッシュ通知)、学校、担任からの通知内容の充実
 - ② インターネットを活用し、学習の進捗状況を「マイページ」より発信
 - ③ 在籍生徒の出身学校への状況報告
- (2)学園広報活動の充実
 - ① 学校説明会、入学前個別相談、学校ホームページの充実
 - ② 外部相談会への参加
 - ③ 各種媒体への掲載

自己評価アンケートの結果と分析[令和7年3月実施分]

○生徒・保護者アンケート

実施時期 令和7年3月

有効回答数 81 名分

○教職員(常勤教職員)アンケート

実施時期 令和7年3月

有効回答数 10 名分

【分析概要】

①教職員アンケート

概ね肯定的な評価を得ることができた。特に「成績評価・単位認定等の基準の明確化」) や「退学率低減への取組」、「教育理念・目標の定着」など、学校運営の基盤に関わる項目 は高く評価されており、教育活動の方向性が教職員に共有されていることが確認できた。 また「生徒の健康管理」や「生徒指導の適切さ」についても評価が高く、生徒支援体制が確立していることがうかがえる。

一方で、「教職員研修の充実」や「他校種・関係機関との連携」等については一定の改善余地が指摘された。

以上を踏まえ、来年度に向けた課題は①教職員の資質向上に向けた研修の計画的実施、②関係機関や他校種との連携強化である。これらの課題解決に向け、年間研修計画の策定と外部研修機会の拡充、地域・専門機関とのネットワーク構築を進めることで、学校運営の一層の信頼性と透明性を確保していく。

②生徒・保護者アンケート

概ね高い評価を得ることができた。生徒においては、「所属コース・クラスへの満足度」 (肯定的回答 96%)、「授業理解に向けた教員の工夫」(同 91%)、「健康面への教員の適切な対応」(同 97%)などが高く評価され、生徒が安心して学べる教育環境が整っていることが確認された。一方、「部活動の魅力」や「スクールカウンセラーの利用環境」については改善の余地が見られた。

保護者からは、「生徒の学校生活満足度の把握」(肯定的 97%)や「学校・担任との連携」(同 95%)、「施設や清掃の整備状況」(同 100%)が高評価を得ており、学校運営に対する信頼がうかがえる。ただし、「将来の職業や生き方を考える機会の提供」や「防災教育・防災対策」、「スクールカウンセラーの活用」などには改善課題が見られた。

以上を踏まえ、来年度に向けては①進路探究や将来を見据えた教育機会の拡充、②部活動やサークル活動等を通じた生徒の居場所づくり、③カウンセリング体制の利用促進と相談しやすい環境整備、④防災教育の計画的実施が課題として挙げられる。これらの課題に対して、校外学習や外部講師による講話の実施、少人数サークル活動の導入、カウンセラー利用方法の周知、保護者と連携した防災訓練等を提案し、教育活動の一層の充実を図っていく。

学校評価委員会からの意見

本校は大阪府に認可された通信制高等学校として、生徒一人ひとりの状況に応じた柔軟な教育課程を編成し、社会に開かれた教育を目指して取り組みを進めている。その成果は、今年度実施した生徒・保護者・教職員アンケートの結果にも表れている。生徒からは、授業理解に向けた教員の工夫や健康面への適切な対応、担任や教員の助言に関して高い評価が得られており、安心して学べる環境が整っていることが確認できる。保護者からも、学校・担任との連携や施設整備、清掃状況などに高い満足度が示され、学校運営に対する信頼感がうかがえる。また教職員アンケートでも、教育理念の共有、退学率の低減、成績評価や単位認定基準の明確化など、学校運営の根幹に関わる部分で高い肯定率が得られており、組織としての方向性が定着していると評価できる。

一方で、課題としては複数の側面が浮き彫りとなった。生徒アンケートでは部活動への魅力度が依然として低く、学校生活の多様性を補う工夫が求められる。保護者アンケートでは将来の職業観や生き方を考える機会、防災教育、スクールカウンセラー利用などに改善の余地があり、情報発信の不足が背景にあると考えられる。教職員アンケートでは教員研修や関係機関との連携強化が十分ではないとの回答があり、教職員の資質向上や組織体制の整備が継続的な課題となっている。これらはいずれも昨年度の委員会意見でも指摘された点と重なっており、引き続き重点的に取り組むべきである。

評価の高かった項目についても現状維持にとどまらず、更なる魅力として発展させる姿勢が求められる。例えば「生徒への配慮」に関しては、教職員の努力の成果と考えられるが、その対応が生徒の真のニーズに合致しているかを常に確認し、ズレをなくすことで教育の質を高めることができる。また、部活動が難しい場合は、小規模サークルや体験活動を拡充し、生徒の満足度を高めることが期待される。さらに、教育理念や活動内容、相談体制等については、在校生や保護者のみならず、これから入学を希望する生徒や保護者に向けた広報活動を強化する必要がある。

生徒数が増加傾向にある今こそ、教育内容の充実とともに、学校選択の段階から十分な理解と安心安全な環境を提供することが重要である。来年度以降も教職員全体で生徒の未来を第一に考え、将来を見据えた教育を推進することで、本校の教育的使命をさらに発展させていくことを強く期待する。

(令和7年6月実施)

3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	収組内容及び目己評価今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
多様な事情に配慮した教育と柔軟な学習システムの構築通信制・単位制の特色を生かした、生徒たちが抱える	(1)教育内容・指導形態・評価方法の研究と 改善 (2)ICT 活用による学習支援の拡充	・研究授業、校内研修を実施し学習指導の改善を図る ・ICTを活用した面接指導や基礎学力向上教材を活用 ・多様なメディア教材を提供	・「教育理念・目標は定められている」肯定率70%以上 ・「ガイドラインに沿った教育指導」肯定率70%以上 ・オンライン授業、多様なメディア教材でも学習の量と質を低下させることがないよう十分配慮する。	教職員アンケートで肯定率 95%以上と高評価で目標を達成した。 一方で保護者の理解が十分でないことが明らかとなった。 課題:保護者・地域への情報発信の強化
育成とその実現に向けた教職員の資質向上2 自己肯定感を高め、社会に貢献できる人材の	 (1)学び直し科目の充実 (2)単位修得率・卒業達成率の向上 (3)多様な学習スタイル導入 (4)人権教育の推進 (5)教職員研修の充実 	 ・レポート計画指導、学校設定科目の検討 ・コース変更への柔軟対応 ・対面・オンライン併用授業の実施 ・人権教育計画の策定 ・研修機会の確保 	 ・「授業理解への工夫」肯定率70%以上 ・「コース満足度」肯定率70%以上 ・「研修充実」肯定率70%以上 	生徒アンケートで授業理解 91%、コース 満足度 96%と高評価で目標達成。 教職員アンケートでは研修充実が 80%に 留まり課題が残る。 課題:研修機会の増加と資質向上の体系 化
3 生徒支援と相談体制の強化・充実	(1)面談・懇談の実施(2)職員間での情報共有(3)危機管理体制の強化(4)疾病・障がい理解研修(5)専門機関との連携	・担任・保護者懇談の充実・履修登録時等に面談を実施・健康調査・中学校引継ぎ情報の共有・疾病・障がい研修の実施・カウンセラー・医療機関との連携	・「学校と保護者・生徒の連携」肯定率70%以上 ・「健康面の対応」肯定率70%以上 ・「スクールカウンセラー体制」肯定率70%以上	生徒・保護者ともに「連携」「健康面の対応」で95%以上と高評価。 スクールカウンセラー利用は生徒 68%と認知不足が判明。 課題:相談体制の周知と利用促進
4 卒業後の進路を見据えたキャリア教育・	 (1)適性に応じたキャリア教育 (2)「進路の手引き」の活用 (3)進路指導計画の策定 (4)進路希望調査の実施 (5)個別進学・就職指導 	・キャリア教育授業の実施・進路情報の提供と相談会開催・進路希望調査を前後期で実施・進学・就職希望者への個別対応	・「将来の職業や生き方を考える機会」肯定率70%以上 ・「教育が将来に役立つ」肯定率70%以上	生徒は「将来を考える機会」91%と高評価で目標達成。 保護者は35%と低く、理解に差がある。 課題:進路活動の可視化と保護者理解の向上
5 情報発信・学園広報活動の充実	(1)学校 HP の充実 (2)広報活動の強化	・HPで学習システムや最新情報を更新・学生証アプリによる通知活用・学校説明会や個別相談会の充実・外部相談会・進学情報誌への参加	・「HP は充実している」肯定率70%以上 ・「学校からの通知の適切さ」 肯定率70%以上	生徒・保護者ともに通知適切性 90%以上、HP 充実度も85%で達成。 今後は教育理念や相談体制など、学校選択段階からの理解促進が必要。 課題:学校活動の外部発信の強化

4 学校教育評価の分析①

(アンケート評価基準) 5.そう思う 4.ややそう思う 3.どちらでもない 2.あまり思わない 1.全く思わない

	5	4	3	2	1
1. 本校は(予想通り・期待通り)自分に合った高校である	74%	16%	10%	0%	0%
2. 本校にて有意義な学校生活を過ごしている	65%	20%	14%	0%	1%
3. 所属しているコース・クラスに満足している	80%	16%	1%	1%	1%
4. 本校はスクーリングを受ける環境が整っている	53%	37%	9%	1%	0%
5. 興味関心のある授業・行事があり、他の高校にない特色がある	69%	19%	11%	1%	0%
6. 教科担当教員は、授業が理解できるよう工夫している	81%	10%	6%	1%	1%
7. 卒業までの教育計画は、わかりやすいものになっている	80%	7%	9%	4%	0%
8. 魅力的な部活動がある	12%	11%	58%	5%	12%
9. 教員の指導やアドバイスは、人権尊重に基づいた適切なものである	88%	6%	6%	0%	0%
10. 生徒の悩みや思いを受け止め、適切なアドバイスをしてくれる教員がいる	84%	11%	5%	0%	0%
11. 教員の生徒に対する体調や健康面での対応は適切である	88%	9%	4%	0%	0%
12. 学校からの行事予定、各種案内、通知等は適切である	77%	17%	4%	2%	0%
13. 学校窓口や電話での対応は丁寧・誠実である	86%	9%	5%	0%	0%
14. 生徒の将来・職業や生き方を考えるような機会を設けている	68%	23%	5%	4%	0%
15. 本校の清掃は行き届いている	85%	10%	5%	0%	0%
16. 本校の施設・設備は十分に整っている	81%	10%	9%	0%	0%
17. 防災教育・防災対策が行われていて、安心して学校生活を過ごしている	73%	17%	7%	1%	1%
18. 暴力・暴言等のいわゆる「いじめ行為」を受けたことがない	95%	5%	0%	0%	0%
19. 多様な背景をもつ生徒への配慮は適切である	84%	7%	9%	2%	2%
20. スクールカウンセラーの配置、部屋の設置など適切である	49%	19%	31%	1%	2%
21. 東朋学園高等学校のホームページは充実している	80%	7%	10%	0%	2%
22. 学校生活に必要な情報を適切に提供している	68%	27%	5%	0%	0%
23. 本校の教育は生徒の将来に役立つものになっている	67%	19%	11%	2%	1%

5 学校教育評価の分析②

(アンケート評価基準) 5.そう思う 4.ややそう思う 3.どちらでもない 2.あまり思わない 1.全く思わない

	5	4	3	2	1
1. 本校の教育理念・教育目標は生徒に合った高校である	75%	18%	5%	1%	0%
2. 本校の教育指導等は通信制高校ガイドラインに沿ったものである	78%	16%	7%	0%	0%
3. 学校あるいは担任と保護者、生徒との連携はとれているか	86%	9%	5%	2%	2%
4. 学校または担任から進路指導・情報の提供が出来ている	66%	27%	7%	0%	0%
5. 生徒は所属しているコース・クラスに満足している	90%	7%	3%	1%	0%
6. 卒業までの教育指導計画はわかりやすいものになっている	62%	35%	3%	0%	0%
7. 資格取得の対策・サポートは適切である	36%	49%	13%	1%	0%
8. 生徒が将来の職業や生き方を考えるような機会を設けている	21%	14%	65%	2%	0%
9. 生徒に対する体調や健康面での対応は適切である	73%	23%	4%	0%	0%
10. 多様な背景をもつ生徒への配慮は適切である	62%	23%	10%	4%	0%
11. 学校からの行事予定、各種案内、通知等は適切である	79%	14%	6%	0%	0%
12. 生活指導について学校や担任は、保護者との連携が適切である	75%	19%	5%	0%	0%
13. 事務局からの各種案内、通知等は適切である	77%	14%	8%	1%	0%
14. 学校窓口や電話での対応は丁寧・誠実である	83%	6%	10%	0%	0%
15. 本校は来校しやすい雰囲気になっている	81%	12%	8%	0%	0%
16. 本校の清掃は行き届いている	92%	8%	0%	0%	0%
17. 本校の施設・設備は十分に整っている	70%	22%	8%	0%	0%
18. 本校の施設・設備は学校生活において安全かつ安心である	79%	16%	5%	0%	0%
19. スクールカウンセラーの配置、部屋の設置など適切である	55%	32%	8%	5%	0%
20. 東朋学園高等学校のホームページは充実している	58%	36%	5%	0%	0%
21. 本校の教育は生徒の将来に役立つものになっている	57%	32%	8%	3%	2%
22. 本校の情報公開は適切である	68%	25%	8%	0%	0%
23. 本校の防災教育・防災対策は適切である	58%	23%	18%	0%	0%

6 学校教育自己評価の分析③

(アンケート評価基準) 5.そう思う 4.ややそう思う 3.どちらでもない 2.あまり思わない 1.全く思わない

	5	4	3	2	1
1. 本校の教育理念・目標は定められている	80%	20%	0%	0%	0%
2. 本校の教育指導等は通信制高校ガイドラインに沿ったものである	75%	20%	5%	0%	0%
3. 運営組織や意思決定組織は規則等において明確化されている	50%	30%	10%	10%	0%
4. 会議は有効に機能している	70%	30%	0%	0%	0%
5. 教員間、教科間の相互理解に基づいた教育活動が行われている	50%	40%	10%	0%	0%
6. 教員と事務職員間の連携が図られている	70%	20%	10%	0%	0%
7. 高校卒業後の進路選択に向けた教育支援が体系的に位置づけられている	70%	20%	10%	0%	0%
8. 成績評価・単位認定・進級・卒業判定の基準は明確になっている	90%	10%	0%	0%	0%
9. 学校や担任は、保護者、生徒との連携が適切である	70%	30%	0%	0%	0%
10. 生徒の健康管理についての対応は適切になされている	80%	20%	0%	0%	0%
11. 多様な背景をもつ生徒への配慮は適切である	80%	10%	10%	0%	0%
12. 生徒指導は適切に行われているか	80%	20%	0%	0%	0%
13. 退学率の低減が図られている	90%	10%	0%	0%	0%
14. 学校のホームページは活用されている	70%	30%	0%	0%	0%
15. 学校の施設・設備は安全に管理されている	70%	30%	0%	0%	0%
16. 学校の情報公開は適切である	65%	35%	0%	0%	0%
17. 関係法令及び設置基準などの法令遵守と適切な運営がなされている	60%	30%	10%	0%	0%
18. 人事、給与に関する規定等は整備されている	50%	40%	0%	10%	0%
19. 財務について会計監査が適切に行われている	70%	30%	0%	0%	0%
20. 財務情報公開の体制整備はできている	65%	20%	15%	0%	0%
21. 個人情報に関し、その保護の為の対策が取られている	60%	30%	10%	0%	0%
22. 教職員の資質向上に向けた研修の充実が図られている	40%	40%	10%	10%	0%
23. 他校種・関係機関等との連携が図られている	40%	40%	10%	10%	0%